

第5期 **きらっとあさひプラン**ってなあに？

旭区**地域福祉保健計画**の愛称です。
身近なまちに知り合いが増え、
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが
地域の皆さんとともに取り組みます。



基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

地区別 計画

地区ごとの課題
に対する取組

区全域 計画

区全域に共通する課題
に対する取組
地区別計画を
支える取組

きらっとあさひプランを
みんなで話し合い、確認しながら
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター
あさひくん

一つひとつの取組が
「安心して自分らしく暮らせるまち」
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん
きらっとあさひプランの
詳細はこちら



若葉台地区

若葉台一丁目
若葉台二丁目
若葉台三丁目
若葉台四丁目

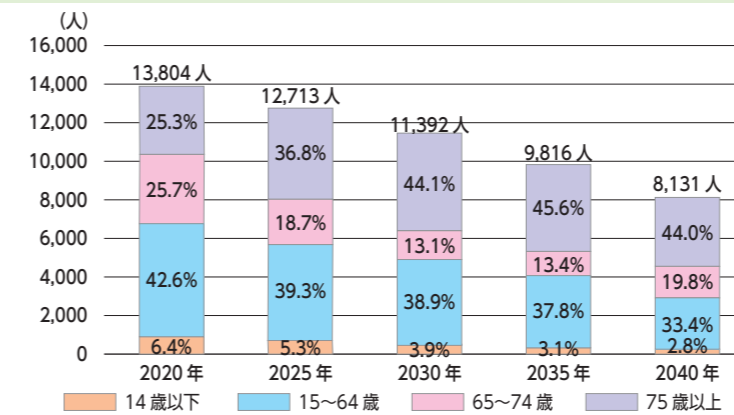
あなたの まち は、どんなまち？



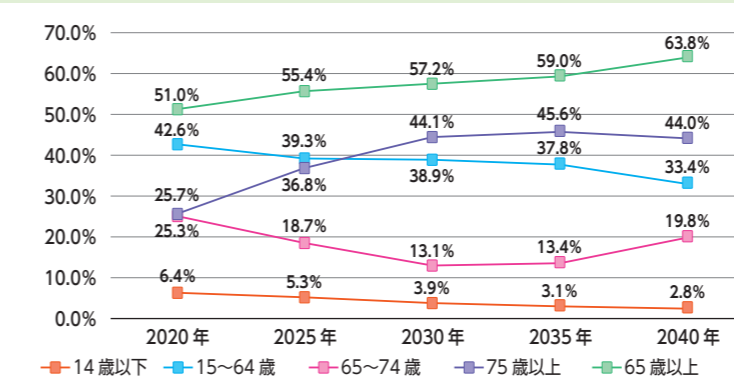
若葉台地区は、区の北端に位置し、帷子川の源流域である丘陵地を大規模開発した集合住宅団地です。団地中央には商店街や公共施設があり、歩車分離道路や、緑に囲まれた計画的な街並みが形成されています。高齢化が進んでいますが、ウォーキングやサークルなどの活動が活発で、元気あふれる街です。

今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約12,700人で、
今後は減少傾向で推移すると見込まれます。
2030年には、14歳以下は3.9%、
65歳以上は57.2%となる見込み
です。

目指す
まちの姿

若葉台地区

出会い ふれあい 支え合い ～気軽に声をかけあい相談できるまち～

この計画は若葉台に関わる全ての人*のためのものです。

*乳幼児から高齢者まで幅広い世代の人、外国籍の人、障がい児・者、若葉台に通勤・通学する人等、様々な立場や背景のある人、だれでも



これまでの取組

- 「移動サロンほっこり」の展開により、参加者の異変に気づき、素早く情報をつなぐことができている。また地区内には、「移動サロンほっこり」に限らず、異変をキャッチする場が多様にある。
- 散歩中に挨拶を心がける、子どもたちが挨拶してくれる等、あいさつ運動は声かけのきっかけとなっている。
- ふれあい花壇を継続したことで、声をかけてくれる人、見て喜んでくれる人、人知れず水をあげてくれる人など、共感の輪が広がった。
- 地区社協だよりを隔月で発行した。地区社協のホームページ、Xで地域の情報を発信した。

目標と主な取組

目標 A お互いを気にかけてあう環境をつくる

- みんなであいさつ運動を継続し、充実させる
 - ▶ 登山のようにいつでもだれとでも
 - ▶ 名前を知らなくても顔見知り
 - ▶ 生活の中で自然に、肩肘はらずに
- みんなでちょっとだけ迷惑をかけあえる寛容な地域づくりをめざす
 - ▶ 「手伝って」「助けて」など言い合えるご近所づきあい
 - ▶ 日頃のちょっとした気づき、声かけから災害時の助け合いへ
 - ▶ 互いの違いを知り、理解し合うための機会づくり

「ふれあいコーナー」

(地域の中で障がい児・者の理解が深まることを目的に、若葉台文化祭の中で展示を実施)



目標 B 地域のだれもが気軽に参加できる場と機会がある

- 移動サロン「ほっこり」の開催を支え、身近な場所で参加できる機会をつくる
- 地域の活動の開催を支援し、様々な方が参加できる機会をつくる



多世代交流みんなあつまれ!!



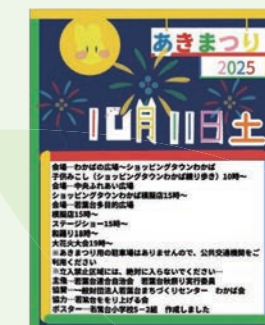
ふれあい花壇

目標 C 多様な住民から広く声を聞き、まちの未来を考える

- 様々な住民の声を聞くために情報を収集する
- 企画段階から地域住民が参加し、意見を反映させながら活動する
- 意見が言えない、参加ができない住民の視点を大切に考え協議する



～若葉台のまちを考えるフォーラム～
若葉台でワクワクドキドキしよう!



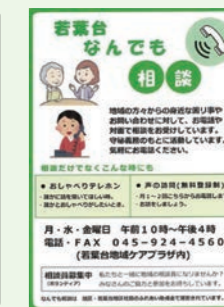
地域のイベントポスターを
小学生が作成

目標 D 適切な方法で、必要な人に必要な情報を届ける

- 支援を必要としている人、支援をしたい人へ情報や取り組みへの思いを発信する
- 広報誌、自治会掲示板、ホームページなど、地域の多様な方法を活用して、様々な人へ情報を届けられるようにする



若葉台アプリ



若葉台なんでも相談

推進体制

若葉台地区社会福祉協議会…連合自治会、単位自治会、住宅管理組合、認定NPO法人若葉台、民生委員・児童委員、保健活動推進員、かがやきクラブ、友愛活動員、青少年指導員、保護司、PTA、ボランティアグループ、地区推進員、学校、幼稚園、保育園

メッセージ

あいさつで みんなつながる 若葉台



黄色と緑色の缶バッジ活動
支援の必要を表明する黄色い缶バッジ
支援できることを表明する緑色の缶バッジ
気軽に声をかけあえる環境づくりを推進